

大宮児童館だより

2022年12月号

(公財)奈良市生涯学習財団 大宮児童館
〒630-8245 奈良市西之阪町 5-1

TEL 0742-27-2220

fax0742-27-2228

E-mail omiya_ji@kcn.jp



クリスマスに年末年始、慌ただしい時期となりました。でも子ども達にとってはワクワクの十二月のようです。今年の冬休みは十二月二十四日から一月九日までと例年より長く、その間にはクリスマスや大晦日、お正月等、様々なイベントが控えています。自分の小学生の時を思い出すと、夜更かしをし、遅く起きて朝食も食べない。ゲームを夜遅くまでして、宿題も適当に…親によく怒られた思い出があります。今の子ども達もゲームやスマホは楽しいけれど、せっかくの冬休みは家族と過ごす時間も大切にしてほしいです。大掃除などでそれぞれの役割をもらって、みんながやれたらいいですね。そして気持ちよく新しい年の抱負をもつて新年を迎えてほしいと思います。

年末年始に掛けて寒さが増し、空気が乾燥するとコロナウイルスの再流行も予想されます。大宮児童館では引き続き子ども達の健康管理と安全管理に全力で取り組んでいきたいと思えます。(小西)

大宮児童館 こども座談会 (11月30日開催)

大宮児童館では、平成十二年の開館以来、様々な事業を実施してきました。時代の変化に合わせて館運営も見直さないといけない時期にきています。見直すにあたって、職員のアイデアだけでは大人からの押し付けと自己満足にもなりかねません。そこで今回は、大宮児童館のこれからをテーマに、近隣の3名の小学生と職員で座談会を行いました。

— みんなの中で児童館はどんなイメージですか？

椿井小4年 S君

・勉強が出来る楽しいところ。

椿井小6年 Sさん

・ひとりになれるところ。他の学校

の子ども達と交流ができるところ

大宮小3年 F君

・友だちと一緒に盛り上げられる楽しい場所。

— 児童館の良いところは？

椿井小4年 S君

・いろいろな集まれるところ。体育室もあって、本もある。

椿井小6年 Sさん

・各部屋が季節に応じた温度設定がされている。冬に体育室で遊んでいる時でも、温度設定を気にしてくれているところ。

— 児童館の悪いところは？

大宮小3年 F君

・寝転んだりできる場所がない。

椿井小4年 S君

・おもちゃと本が少ない。パソコンやテレビが無い。体育室で遊べる遊具がもっと欲しい。

椿井小6年 Sさん

・児童館が出来た時代というものもあるだろうけど館に検索用パソコンがない。数回でいいので、友達と順番に使える検索用パソコンがあればと思う。



―学校で大宮児童館の事を知っている人は多い？

椿井小6年 Sさん

・昔の三笠保育園に通っていた子は知っている。それ以外だと椿井小では数人程度しか知らないと思う。

児童館の名前が知られてなかったのは学校で一緒にふれあう機会がなかったからだと思う。

児童館のチラシとかを見ても知らない子は多い。6年生になるとあまりチラシも見なくなる。

―どうすればもっと知ってもらえる事が出来るかな？

椿井小6年 Sさん

・チラシは文章ばかりでなくてイラストを多くするとか、以前に利用した子ども達の体験コメントを載せれば良いと思う。文章ばかりでは読まないし、文字も小さい。

椿井小4年 S君

・チラシにもっとひらがなを使って伝えたいところは大きな文字にした方が良いと思う。子ども達が来やすい日にお菓子を一個くれたら来ると思う。あとは自動販売機もあれば。



将来はどんな児童館になってほしいですか？

椿井小6年 Sさん

・児童館は子どもが楽しく運動をするイメージがある。それはそれでいいけども、運動が好きではない子もいる。色んな理由があつて部屋で遊ぶ子どもも多いと思うので、折り紙教室とかを開催したら子どもが来ると思う。それと勉強と運動だけではなくて、くつろげる場所がほしい。季節ごとに新しい本を置いて欲しい。色んな子どもが楽しめる児童館になってほしい。
大宮小3年 F君
・友だちと楽しく過ごせる所であつてほしい。

―最後に何でも思った事を。

椿井小6年 Sさん

・児童館にリクエストBOXとかを作つてほしい。児童館のイベントを計画する時に意見を取り入れて欲しい。例えばタイピング講座とか。児童館を宣伝する短い動画とかも子ども達をモデルに使つて。

椿井小4年 S君

・前に行つていた児童館(県外)では冷たい飲み物を飲みながら、夏には映画を見ていた。すべり台やブランコもあつて楽しめた。和室の活用とくつろげる場所がほしい。

大宮小3年 F君

・学校で勉強するよりも、児童館で勉強する方がよく出来る。もう少し開いている時間を延ばしてほしい。



全員から

・先生以外のひとに勉強をなさいつていわれてもいやな気持ちにならない。

椿井小6年 Sさん

・こういつた話し合いの機会を1ヶ月もしくは2ヶ月に1回は開催したらいいと思う。短い間隔で話し合いをしたら、前の提案が出来たかどうかの区別もつけやすい。

何ヶ月もあけると、せっかくの提案も無理つていう事になりやすい。何でも実現できる方向で考えていつてほしい。

―今日はとても貴重な意見をありがとうございました。また次回も開催したいので、参加して下さいね。

座談会を終えて・・・

今回の座談会で子ども達が将来の大宮児童館を語ってくれる姿を見てとても嬉しく思います。

子ども達の意見やアイデアを真摯に受け止めて、子ども達と一緒に「遊びながら学んでいきたい」と思っています。